

平成 27 年 11 月 8 日 (日)

紅葉まつり

活動報告書

今年も無事に愛川ふれあいの村、恒例行事の『紅葉まつり』を開催することが出来ました。一日中雨が降ったり、止んだりのあいにくの天候の中での開催にもかかわらず、1,000 名近くの方にご来場いただきました。「雨でも開催してくれて、ありがとうございました」「紅葉を楽しみに来ました」と嬉しくなる言葉をかけて下さる方が多数いらっしゃいました。



まずは『ステージ発表』の様子からお伝えしていきます。

オープニングとして、太鼓集団「舞彩駒」が迫力ある演奏を披露してくれました。会場となった集会室の外にも大きな音でひびき、まつり全体のボルテージも一気に上がりました。

その他に地元幼稚園による鼓笛隊の発表、民踊、エイサー踊りなど5つの団体が、来場者を楽しませてくれました。どの演者も真剣そのもの！見ているお客さんもその迫力にどんどん引き込まれていっていました。



続きまして『体育館エリア』。

こちらには手作り小物の販売やポップコーンなどのお菓子の販売、軽食販売、クラフト体験など約30店のお店で盛り上がっていました。なかには子どもたちがお店に立ち、お客さんの呼び込みから、販売をしているお店もあり、とってもアットホームな雰囲気がありました。注目が高かったのが、マジックショー。ネタを見破ろうとみんなの必死な姿が印象的でした。「え～なんで」「分からない」「もう一回」と自然とマジックの世界に取り込まれていました。

大人に大人気だったのが、整体。皆さん、日ごろの疲れを癒されていました。



続いては、たくさんの体験が出来た『しらかば棟エリア』です。

本来は宿泊棟である「しらかば棟」を開放し、絹の町「愛川」らしい組ひも作り体験、押し花体験、自然素材を使ったクラフト体験や野外力検定を実施しました。クラフトなどの自分で作る体験コーナーでは、子どもよりも大人が夢中になっている場面を見ることが出来ました。

野外力検定では、自分の感覚を頼りするゲームを行っていました。例えば、水に溶いたワサビやしょうゆなどのおいを当てる「においの達人」や重さを当てる「重さどんぴしゃ」など。「やったあ当たった」「あ〜違う・・・」などで大いに盛り上がっていました。

屋外では、村で作ったさつまいもを使った、焼き芋が今年も大人気でした。



次は、多くの人で賑わった『飲食ブース』。

管理棟前の広場では、10つの店舗が広がっていました。メニューもおでん・焼き魚・焼鳥・串焼き・かけそば・ケバブなど色とりどりで、まつり開始時から良い香りが広場から漂っていました。威勢の良い販売の方の声が、広場に広がっていました。お客さんも良い香りに誘われ、販売員の声に誘われしながら、お店を回っていました。

また買い物しながらお店の方と話を楽しまれている方もおり、にこやかな雰囲気を感じました。



その他『1 WEEK 同窓会』&『ディスクゴルフ』。

村の主催事業として、8月に1週間の子どものキャンプを実施した時の同窓会を開催しました。久しぶりの再会に、「元気?」「あれえ大きくなった?!」。最初は緊張している子ども、仲間と会えるのは、やっぱり嬉しい再会。お互いの近況を話したり、一緒にまつりブースを回ったりして、さらに絆を深めていっていました。

その他にディスクゴルフが楽しめるブースも設置しました。雨でお客さんが多くはなかったですが、それでも体験した人からは、「楽しかった!」「今度はゆっくり来ます」の声を聞くことが出来ました。



今年も多く方のご協力や、支援があって『紅葉まつり』を開催することが出来ました。

来場いただいた皆さん、出店いただいた皆さん、陰ながらサポートしていただいた皆さん、本当にありがとうございました。

来年も紅葉のキレイな時期に開催をいたします。これからもどうぞよろしくお願いたします。

【文責：高橋】